

難民についての教材活用セミナー

目的

現場の教職員や教職を志す学生をはじめとしたご関心をお持ちの方々を対象に、総合的な学習の時間や人権教育、キャリア教育における活用、グローバル人材の育成やアクティブラーニングへの貢献を目的として、難民問題やUNHCRについての基礎知識に加え、当協会が開発した『いのちの持ち物けんさ』と『あるものないものワークショップ』の実践方法の伝達を行います。

また、ワークショップ実施をサポートしている学生団体SOARと教育現場との連携を強化するとともに、相互に実践とディスカッションを重ね、今後のさらなる教材の進化を目指します。

内容

13:00-17:40 各会場開始30分前開場

- ・難民問題とUNHCRの基礎知識 / 教材の紹介と応用編
- ・『いのちの持ち物けんさ』の実践と『あるものないものワークショップ』の解説
- ・ディスカッション

※当日、教材資料を配布いたします(当協会ウェブページからも一部ダウンロード可能)。

- ・『難民についての授業の広場』 <http://www.japanforunhcr.org/archives/forteachers/>

お申し込み方法

参加費無料 / 先着順の事前申込制(定員(各回40名)になり次第締切)

国連UNHCR協会ホームページに設ける「難民についての教材活用セミナー2019春」専用サイト <http://www.japanforunhcr.org/archives/13903/> で詳細をご確認いただき、お申し込みください。

場所・日程

- 東京会場** 3/26(火) **協力:** 聖心女子大学グローバル共生研究所
聖心女子大学4号館/聖心グローバルプラザ2階 4-2教室(渋谷区広尾4-2-24)
- 山形会場** 3/27(水) **後援:** 山形県教育委員会・JICA東北・(公財)山形県国際交流協会
山形県国際交流センター 研修室(山形市城南町1-1-1霞城セントラル2階)

お問い合わせ先

国連UNHCR協会 法人・学校担当 school@japanforunhcr.org (天沼)
〒107-0062 東京都港区南青山6-10-11 ウェスレーセンター3階
TEL: 03-4366-7373 FAX: 03-3499-2273 www.japanforunhcr.org



難民を守る。難民を支える。
国連UNHCR協会

『いのちの持ち物けんさ』とは

【喪失の疑似体験】を通じて生まれるく【自分への気づき】を元にして、難民の人たちの心の痛みに寄り添うために「自分にできることは何か」を考えるきっかけをつくること、難民について知ってもらうことを目的としたワークショップ。

付箋とワークシートを使用したグループワークで、中高生以上推奨。

『あるものないものワークショップ』とは

難民の人々の現状に関する写真から

【難民にないもの】

【難民にはあって私たちにないもの】

【難民にも私たちにもあるもの】

について考え、自分たちや日本の社会が、現在そして未来においてできることを導き出していくワークショップ。

小学校高学年から中学生推奨。



「難民についての教材活用セミナー」実施の様子(2017年夏)

■特定非営利活動法人国連UNHCR協会とは

UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)は1950年に設立された国連の難民支援機関です。紛争や迫害により故郷を追われた難民・避難民を国際的に保護・支援し、難民問題の解決に対して働きかけています。1954年と1981年にノーベル平和賞を受賞。スイス・ジュネーブに本部を置き、約135カ国で援助活動を行っています。この国連の難民援助活動を支えるため、広報・募金活動を行う日本国内における公式支援窓口が、国連UNHCR協会です。

■学生団体SOAR (Students' Organization Assembled for Refugees) とは

国連UNHCR協会のインターンシップを経験した学生を中心に設立された学生団体です。教育機関や団体に対し、難民問題に関する出張授業を実施しています。